

○第19回北陸地域連携プラットフォーム資料に関するご意見、ご要望等

| 頁 | 取組事例 | ご意見・ご要望等の内容 |
|---|----------------------------------|--|
| 2 | 市町村長との定期的な意見交換 | <p>毎年、北陸3県市町村長と意見交換を実施し、それにより地域の課題の把握や提案、マッチングなどができていることは、地域貢献として非常に良い取組である。</p> <p>他の地方財務局でも実施しているのであれば、他の財務局での情報も活かしながら、北陸の地域課題解決を支援していただきたい。</p> |
| 3 | (参考) 地方公共団体から聞かれた声等 (北陸新幹線延伸) | <p>北陸新幹線の延伸によって、並行在来線はどうなるのか？、また、関西圏からの誘客は増えるのか？、小松空港へ与える影響は？など、今後とも、地方公共団体や経済界の意見等の集約をお願いしたい。</p> <p>「コロナ前」の状況を今さらながら確認するものであり、コロナによる激変ぶりを改めて再認識する資料である。現在『コロナ禍中』にあり、北陸新幹線延伸とどのような時間軸になるか不透明ながら『コロナ後』も今後控えている。</p> <p>地方公共団体は、緊急経済対策・雇用対策等全力を挙げて取り組んでおられるが、コロナ禍影響による相当な税収減も生じてくるものと思料。北陸新幹線延伸に向けて各種の開発事業計画を進めてきた事業者自身も目先コロナ対策で毀損してきている。</p> <p>『コロナ後』地域経済回復を少しでも早めるため、地方公共団体と地域金融機関協働でのリスクマネー供給(官民連携ブリッジファンド)など、①事業そのものの支援、②事業配当を原資に行う助成活動を働きかけていきたい。</p> |
| 4 | 「地方公共団体の財務状況把握」を活用した説明会等 | <p>地方公共団体の課題解決に向けた取組として、業務の効率化・生産性の向上をサポートするようなコンサルティング・支援ができないかと考える。</p> <p>直接的なコンサルが無理であれば、若手職員との意見交換等の場を利用して勉強会ができればと思う。</p> |
| 5 | 国の支援制度等に係るパッケージ型説明会 | <p>北陸財務局の声掛けならではの府省横断的な国の支援制度に関する市町村へのパッケージ型説明会開催は良い企画・機会であり、北陸3県各県で開催されている点も評価できる。</p> <p>今後、6次産業化推進の観点から北陸農政局にも参加いただければどうか。また、行政向けではなく企業向けの説明会も検討してはどうか。</p> |
| 6 | 地方創生フォーラム in 福井 | <p>地方創生フォーラムin福井はとても良い企画であり、今後、石川県や富山県でも開催していただきたい。</p> <p>さしあたっては、新型コロナウイルス感染症克服と経済復興だと思うが、アフターコロナは、ビジネススタイルも変わらざるを得ないと思う。</p> <p>コロナ禍の影響を踏まえて、地方創生フォーラムで認識を共有した、「地域連携」や「若手世代の創業機会創出」を、「民間主導」で行っていくことが今後ますます重要になってくると思料。</p> |

| 頁 | 取組事例 | ご意見・ご要望等の内容 |
|----|---------------------------------|---|
| 7 | (参考) 北陸財務局による新型コロナウイルス感染症への対応状況 | <p>新型コロナウイルス感染症へ対応いただき感謝。今後、次の展開における課題が出てくると予想されることから、市町村長との意見交換を始め、様々な機会により情報を収集し、中長期的な視点で臨んでいただきたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症への対応として、関係機関の間で認識共有及び連携確認などにおいて地域内での結束強化が図られている。今後においても、「第2波」等を警戒しながら、業務を実施することになるものと思料。 そのため、各関係機関で業務運営において取り組んできた事例に加えて、成果・課題等を共有することも必要ではないか。</p> <p>新型コロナウイルス感染症への対応については、当社でも4,200先のお取引事業者にも早めにアプローチして参りましたが、3月17日からスタートした政策金融公庫の実質無利子・無担保資金へのニーズが強く、ほぞを噛んでいましたが、業界団体をはじめ金融団の要望等をお聞き入れ頂き、5月1日から民間金融機関も参入出来て今日に至っている。 私共も信用保証協会共々、土日問わず出勤しここに来て、目安がついた所。出来得るならば、公庫資金と同様にスタート出来ればよりスムーズに事業者へ寄り添えることが出来たのではないかと思う。</p> <p>新型コロナウイルス感染症への対応については、感染予防、検査・医療体制の充実とともに、地元北陸経済への影響緩和をいかに早期に成し遂げていくかが、求められている。 今こそ、それぞれの県単位だけではなく、富山、石川、福井県が互いに連携し合うこと、「チーム北陸」として官民一体となり『北陸ブランド』を域外に発信していく取組が必要だと思う。</p> <p>当社においても、全取引先に対して網羅的に新型コロナウイルス感染症の影響ヒアリングおよび支援対応に全力で努めており、営業店現場からあがってくる顧客の声について、共有すべきと考えるものがあればプラットフォームで共有していきたい。 一方、他の地方で好事例があれば、いろいろご教示いただきたい。</p> |
| 9 | PPP/PFI地域プラットフォーム | <p>北陸3県それぞれで地域プラットフォームに関係した事業が進行しているなど成果が創出されている。 一方で、新型コロナウイルス感染症への対策として、従来のセミナー及びフォーラム開催では難しくなってくることから、今後、開催方法の工夫等を議論していくべきと考える。</p> |
| 10 | 地域連携推進協力隊の活動 | <p>各種取組に関して、財務局は基本的にはパッシブな立場であることは理解するが、もう少しアクティブであっても良いのではないか。 例えば、地方創生支援に関して、特に、「若手職員による自主的な取組」に「発掘」(地域の魅力の発掘・発信、地域固有の資源の発掘・活性化等)の概念が望まれる。</p> <p>【再掲】 地方公共団体の課題解決に向けた取組として、業務の効率化・生産性の向上をサポートするようなコンサルティング・支援ができないかと考える。 直接的なコンサルが無理であれば、若手職員との意見交換等の場を利用して勉強会ができればと思う。</p> |
| 11 | 大学、高校との連携(寄附講義等) | <p>高校から大学院まで、多くの教育機関において講義等をしていただいているが、今事務年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、中止や計画どおりにいかなかったものと思料。教育現場も非常に混乱した。 本学ではe-learning教材を提供いただき感謝。今後、新型コロナウイルス感染症対応が長期化する懸念もあることから、非常時にも対応できるよう、出張講義だけでなくe-learningを含め様々な方法を組み合わせて効果的・継続的に、また広く教育への支援をしていただけると有難い。</p> |

| 頁 | 取組事例 | ご意見・ご要望等の内容 |
|----|-----------------------|--|
| 15 | 地域の方々向け講演・広報 | <p>公民館、老人クラブ等でのキャッシュレス決済の講演など、高齢者にキャッシュレス決済を説明することは、大変なことと思いますが、今後、地方においても決済手段はますます複雑化すると思われる。 引き続きタイムリーな講演をお願いしたい。</p> |
| | 北陸財務局の業務・施策全般に関するご意見等 | <p>財務局の強みを活かした取組、若手職員による自主的な取組、教育機関等との連携による取組、いずれも広い意味で「財務局の強み」を活かした取組であり、地域と連携する財務局として極めて意義深いものとする。 また、新型コロナウイルス感染症への対応状況は評価できる。迅速に事業が進むことを切望する。</p> <p>北陸財務局においては、市町村長との意見交換を通じた地方自治体の課題解決に向けた取組や、若手職員による地域連携推進の取組、大学への寄附講義など教育機関等との連携した取組など、地域の活性化に向けた取組を積極的に推進いただき感謝。 また、今般の新型コロナウイルス感染拡大に際しては、各県が影響を受けた事業者のために実施している公的支援施策を情報発信いただき大変有り難い。 今後とも引き続き、地域の活性化や地方創生の推進に向け、県はもとより、市町村や高等教育機関との連携による取組を積極的に推進していただければ大変有難い。</p> <p>「北陸地域への貢献」を最重要課題として取り組んでいただき感謝。引き続き支援をお願いしたい。 北陸財務局がリーダーになることにより、金融機関や国の行政機関の出先もまとまり易いと思うので、大変心強い。</p> <p>パラダイムシフト・ニューノーマルと言われているコロナ感染症を考える場合において、当資料は「コロナ前」を振り返る大変参考になる資料である。 「コロナ禍中」「コロナ後」を考察していくうえで、引き続きベースとしてほしい。 また、コロナ禍により「空間価値」と「分散ニーズ」が高まっていくものと思料。地方として、中央では難しい「余裕のある空間価値」を創出し、「分散ニーズ」を取り込んでいく「コロナ後」を見据えた長期的視野も踏まえた対応を進めていきたく、引き続きの連携をお願いしたい。</p> <p>令和元事務年度の取組については評価できるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、状況は一変。終息が見通せない中で、今後、北陸地域をどう再生していくか、北陸財務局にもこれまで以上の取組、あるいは、新たな視点での活性化策が望まれる。 とりわけ、北陸新幹線敦賀延伸は重要なファクターであり、遅滞なく建設が進むよう、後押しをお願いしたい。3年後には新型コロナウイルス感染症も終息していると思われることから、福井県はもちろんのこと、北陸全体の浮揚策として延伸をきっかけに、様々な策を打ち出す必要がある。 ただし、新型コロナウイルス感染症対策で国、県の財政は厳しい状況にあり、知恵を絞る必要がある。北陸財務局には、けん引役としてフル回転していただきたい。</p> |